

# 自閉症スペクトラム支援の実践知をつなぐ (2)

## — 自閉症スペクトラム児者の行動障害の理解と支援 —

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成 29 年 7 月 1 日~平成 34 年 6 月 30 日 承認番号:W29111>

期 日:2018年10月20日(土)・21日(日)

受講対象:自閉症や特別支援教育に関わる教諭、養護教諭、学校関係者のほか、保育・相談に関わる専門職の方、および保護者の方々

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページ等でご確認ください)

受講料:10,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 ☎03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

本年度の講座では、自閉症スペクトラム児者の行動障害の理解と支援について取り上げます。自閉症スペクトラム支援の歴史において、行動障害に対する理解と支援には多くの曲折と試行がありました。現在、強度行動障害に対する支援力向上のための研修が全国的に展開されています。一刻でも早く標準的な支援手法が確立され、自閉症スペクトラムのある人とその家族に安心した穏やかな生活を実現していくことが求められています。

講座では、行動障害に対する基本的な捉えと支援の方針について理解した上で医療、家庭、教育、福祉、就労場面における支援の実際とそれぞれの場面で取り組みを効果的に進めていくための留意点についてお話し頂きます。自閉症スペクトラムのある人が生涯にわたって自らの強みを活かし、可能性を最大限に発揮することができるように、これまで実践の中で培われてきた支援をつないでいきたいと考えています。

《企画講師:横浜国立大学 教授 渡部 匡隆》

### 【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
10月20日(土)	13:00~14:20	行動障害の医学的な理解と支援	埼玉県発達障害総合支援センター 市川 宏伸
	14:30~15:50	家庭における行動障害の支援と留意点	兵庫教育大学 岡村 章司
	16:00~17:20	幼稚園・保育園等における行動障害の支援と留意点	筑波大学 野呂 文行
10月21日(日)	9:30~10:50	専門機関における行動障害の支援と留意点	明治安田こころの健康財団 新井 利明
	11:00~12:20	学校における行動障害の支援と留意点	横浜国立大学 渡部 匡隆
	12:20~13:20	昼 食 (各自おとりください)	
	13:20~14:30	福祉・就労施設における行動障害の支援と留意点	早稲田大学 梅永 雄二
	14:40~16:00	行動障害支援の基本方針、手法、そして留意点	国立のぞみの園 志賀 利一

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。